地区広報
芸術の森

題字　平澤　博

第8号
平成19年7月30日
発行　地区広報・芸術の森
編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

安全で安心、景観に配慮したまちづくりを進めましょう

芸術の森地区町内会連合会
会　長
関　口　　明

去る４月の連町総会において、高橋稀一前会長の後を受け継ぎ会長に就任しました関口です、どうぞよろしくお願い申しあげます。

総会では、多くの行事や事業の実施について決議されましたが、重点事項の中より次の二点について触れてみたいと思います。

先ず安全、安心の街づくりは、連町においても最重要課題として取組んでいきます。昨年２月連町と三小学校区が協力して設立した「もりの仲間のネットワーク」は、子供を見守る重点週間をはじめ、110番の家スタンプラリーや国道453の安全パレードなどを行いましたが、本年度も引続き実施したします。

また、夏期間の公園に集まっての騒ぎなど、付近の方々にとって大変迷惑な行為も後を絶ちません。このため交番の設置をはじめパトカーの巡回等を南警察署を通してお願いしているところです。

次に、新ビジョンの中のシーニックバイウエイ事業は、国道453号と同230号を結び札幌南ルート（仮称）とするため、ルート申請及び認定に期間を要します。当面は新ビジョン実現の一環として夏期間は花の植栽で美しく、冬期間はイルミネーションで明るくを基本に据えて、地域の方々をはじめＰＭＦ等で国の内外から訪れる方々に好感をもって頂ける街づくりを進めたいと考えています。

駒岡地区の市道についても、バイウエイの観点より同様に進めてまいります。

芸術の森地区町内会連合会定期総会報告

平成19年度　重点活動方針

１．芸術の森地区新まちづくりの実現
２．もりの仲間の子どもを見守るネットワークの充実
３．シーニックバイウエイ事業の取組み
４．交通体系の整備
５．市立大学との連携強化
６．広報活動の充実
７．簡易保険制度変更に伴う対応
８．要望・陳情
　１）交番の設置
　２）真駒内川改修の早期完了
　３）常盤団地入口のセンサー付信号機等の設置検討
　　町内会要望の支援

総会の概要

４月28日（土）15時から芸森地区会館で、芸術の森地区町内会連合会（連町）理事及び代議員等50名（ほか来賓３名）出席のもと、平成19年度連町定期総会が開催されました。

高橋稀一会長のあいさつのあと、議長にアートパーク町内会の寺澤一郎代議員を選出して議案の審議に入り、18年度事業・決算・監査報告及び19年度重点活動方針（別掲）を含む事業・予算計画（案）並びに役員改選（案）が提出され、第１号議案から第９号議案まで出席代議員全員の満場一致により承認されました。

なお、今期改選役員（専門部分担）は別記のとおりです。

主な討議内容

１．連町事業が先行している感があり、単位町内会事業とかみ合わない。
　○予算（市からの）配分については問題なく、今後は地域性を尊重する視点も必要と思われる。
２．日赤・共同募金は自主的寄付を行うべきもので、現行方法（単町一括寄付）は如何なものか。
　○単位町内会毎の自主的判断に委ねる。
３．決算・予算関連
　（１）簡保会計から一般会計への繰り入れ金（振り込み時期の件）

○年度末におろし、年度当初に習慣的に振り込まれてきた経緯がある。

（２）基金特別会計は決算にあるが予算にない。

○会館改築等で積み立てを行っている。本年度振り込みは利息のみで、明年度以降も積み立ては難しいが、利息のみでも予算案として計上する。

（３）体育部（備品）予算、使用・必要目的の明確化（複数の質問・意見あり）

○地域会員の高齢化などを勘案するほか、意見・討議を深めてより多くの参加を期待して魅力ある用具を決めていきたい。

平成19年度　芸術の森地区町内会連合会役員名簿

会長	関口　明	常盤団地
副会長（兼）環境衛生部長	堀川　昭八	石山東
副会長（兼）総務部長	村井　淳一	サンブライト真駒内
副会長（兼）企画部長	島田　三千春	真駒内駒岡
総務副部長	塩崎　典男	駒岡団地
企画副部長	佐々木　敏夫	真駒内三団
文化部長	織田　栄	常盤一区
文化副部長	野寄　道夫	アートパークタウン

体育部長	佐藤　優司	芸森東地区スポ振興会
体育副部長	古内　昭	常盤体育振興会
青少年部長	古内　昭	常盤中校区健全育成
防犯防災部長	蓑輪　博	見晴
防犯防災副部長	菅原　繁利	真駒内二団
交通安全部長	大滝　盛弘	常盤台
福祉部長	伊藤　正	滝野
女性部長	三上　良子	地縁団体見晴
監事	藤澤　昭	常盤二区
監事	佐々　邦雄	地縁団体石山八区

更なる地域の福祉向上を目指します

会則を改正し、あらたなスタートが始まりました

芸術の森地区社会福祉協議会
（芸術の森地区福祉のまち推進センター）
会長　伊藤　正

日ごろより、当会の活動に関しまして、ご理解・ご協力・ご助言をいただき、感謝申し上げます。

当会は平成７年４月に発足以来、地域の福祉の充実を図るべくさまざまな事業を展開してまいりました。その中で運営の実情を考慮し、組織及び役員構成の見直しを図ることが、更なる福祉向上・発展につながるものと思料し、このたび、会則の改正にいたりました。５月22日の総会において採択されたとおりでございます。

現在、これに基づき事業は進められております。事務局の強化は勿論のこと、広報啓発部、高齢者支援部（さわやかクラブ等）、子育て支援部（子育てサロン等）、ふれあい部（三世代交流等）、福祉推進部の５部門がそれぞれの実務責任者を明確にすることにより、事業実施の機動力の向上につながるものと考えます。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

平成19年度芸術の森地区社会福祉協議会定期総会報告

事務局長　塩田　恒雄

本会の定期総会は、５月22日（火）午後６時30分から芸術の森地区会館において、42名が出席し開催されました。伊藤会長の挨拶後に、第１号から第７号議案の審議に入り、特に、議案第４号の大幅な組織の改編と事業推進の規約一部改正は、活発な意見等もありましたが、原案どおり、また、役員改選（別紙）も可決されました。

１．主な改正点

（１）これまでの運営の実情を考慮し、組織及び役員構成の見直しを行い、理事会等の定期開催の実施により協議機関としての充実を図る。

（２）事務局機能を強化するとともに、専門部を５部とし、事業の実務責任者により構成し、事業実施の機動力を向上させる。

今後は、本改正案の主旨に基づき、組織及び事業を推進し、更なる地域住民の福祉向上を目指し、当地区の特色のある福祉活動を図ります。

２．平成19年度事業計画

（１）福祉のまち推進センターの機能充実。
（南老人福祉センター内の有効利用）

（２）町内会福祉推進委員会等（地域福祉ネッワーク）の組織化と事業推進

（３）ボランティア登録制の活用と窓口化の推進

（４）福祉除雪サービスの推進

３．重点計画

（組織再編により事務局の機能強化と５専門部の設置）

（事務局）

①庶務に関する業務、議案書の作成などのほか区社会福祉協議会と連携強化を図る。

②会計に関する業務、予算、決算書の作成などの処理に努める。

（専門部）

（１）広報啓発部

①　広報発行、ホームページの掲載、情報啓発、

②　研修会等の開催など

（２）高齢者支援部

①　「もりの仲間のさわやかクラブ」の事業推進。
（毎月第４日曜日、引き続き実施）

②　「介護予防ネットワーク」との連推により事業推

進を図る。

（３）子育て支援部

①「もりの仲間の子育てサロン」事業の推進
（毎月第１・第３水曜日、引き続き実施）

（４）ふれあい部

①「もりの仲間の交流会（三世代交流事業）」の実施場所の確保と継続実施の検討を図る。

②もりの仲間の「駒岡朝市」への事業協力

（５）福祉推進部

①福祉推進委員会の各町内会との調整と一元化の樹立を図る。

②ボランティア登録制の推進と福祉推進員の研修会の実施。

平成19年度 芸術の森地区社会福祉協議会役員名簿

役職名		氏名	所属町内会
会長		伊藤　正	滝野
副会長		関口　明	常盤団地
監事		片山　冨次郎	石山東
監事		前口　敦司	サンブライト真駒内
事務局	事務局長	塩田　恒雄	常盤団地
	総務担当	田村　隆	常盤団地
	会計担当	藤沢　昭	常盤二区
専門部	広報啓発部長	馬場　宏	常盤一区
	高齢者支援部長	清水　勲	アートパーク
	子育て支援部長	三上　良子	地縁団体見晴
	ふれあい部長	野中　晴彦	石山東
	福祉推進部長	塩崎　典男	駒岡団地

子供の目線で良い環境づくりを考えています。

芸術の森地区青少年育成委員会
会長　前口　敦司

日頃地域の皆様には育成委員会の活動に、ご協力とご理解頂きましてありがとうございます

本年度も昨年同様各イベントを通して子供達と接し、子供の目線で良い環境作りを考えていきたいと思っています。

今年度は育成委員として札幌市から選任されて任期最後の年となっています。次期委員にも今まで活動してきたことをしっかり引き継いでいくために、活動内容の書類作りにも取り組んでいきたいと思っています。

本年度の委員会活動ですが、小学生スキー教室、交流餅つき大会、親善スポーツ大会、研修懇談会、地区パトロールなどを例年通り行う予定です。

本年度も、委員会活動を関係団体の皆さんと協力し、任期最後の年を委員全員が一致団結して進めていきたいと思います。皆さんの参加、ご協力をお願いして本年度のご挨拶とさせて頂きます。

19年度会議・行事予定

・平成19年度総会	４月27日
・第１回育成委員会	５月23日
・第２回育成委員会	７月４日
・「青少年の非行防止」道民総ぐるみ大会	７月31日
・南区青少年育成委員会全体研修会	８月30日
・盆踊り会場巡回	８月11・12日
・第３回育成委員会	９月５日
・もりの仲間の交流会協力	９月８日
・常盤神社祭の巡回	９月
・関係団体との意見交換研修会	
・第４回育成委員会	10月17日
・交流スポーツ大会	10月
・第36回南区少年少女親善スポーツ大会	11月11日
・第11回芸術の森地区音楽祭協力	11月18日
・札幌市育成大会	11月４日
・第５回育成委員会	11月28日
・交流もちつき大会	12月９日
・スキー教室	１月12・13日
・成人式協力	１月14日
・第６回育成委員会	２月６日

青少年育成委員会定期総会報告

平成19年度芸術の森地区青少年育成委員会定期総会は、４月27日に開催され、平成18年度事業報告及び収支決算と平成19年度事業計画及び収支予算案が承認されました。

昨年度の反省をもとに、本年度も委員会活動を活発に進めていくとともに地域の活動に協力し、子どもたちの安全とたくさんの笑顔に出会えるよう活動していくことを委員一同確認することができました。地域の皆様におかれましては委員会活動への参加とご協力を、よろしくお願いいたします。

平成19年度 青少年育成委員名簿

役職名	氏名	所在町内会等
会長	前口　敦司	真駒内駒岡
副会長	吉澤　孝子	石山東
副会長	富士　順之	アートパークタウン
代表幹事	福田　知子	サンブライト真駒内
監査	古内　一枝	常盤一区
監査	松原　義雄	常盤スポーツ少年団
委員	佐々木　智明	見晴
委員	小石川　英功	石山フォックス
委員	早坂　剛	常盤団地
委員	横山　雪枝	常盤団地
委員	横山　圭子	常盤一区
委員	菅江　優美子	常盤一区
委員	石黒　裕子	アートパークタウン
委員	繁在家　公恵	サンブライト真駒内
委員	丹代　孝子	常盤体育振興会

高齢者支援部「森の仲間のさわやかクラブ」の開催

高齢者支援部では、高齢者が健康でいきいきと生活できるよう支援することを目標として、芸術の森地区町内会連合会に所属する14町内会を４ブロックに区分し、おおむね70歳以上の方々を対象に、１回の参加者をおおむね20名として、各ブロック毎に年２回、合計８回の「森の仲間のさわやかクラブ」の開催を計画しております。

事業の内容は、札幌市保養センター駒岡を開催場所として、①「もりの仲間のこまおか朝市」で、地元産の野菜・山菜等を見て、楽しんでのお買いもの　②南区在宅介護予防センター石山・芸術の森「和幸園」の講師・看護士による講話、血圧測定と日常生活等の健康相談・指導等の介護予防教室　③芸能ボランティア団体による楽しい演芸の鑑賞　④保養センターのお風呂での入浴　⑤保養センター特製のお弁当で昼食をいただき、ほぼ半日間をリラックスした気分で過ごし、参加者同士のコミュニケーションを強め、心身共にリフレッシュしていただく内容としております。

開催日が近くなりましたら、各町内会毎に参加者の募集のご案内をいたします。

みなさまのご参加をお願いいたします。

（高齢者支援部長　清水　勲）

「和幸園」の指導で楽しく指の運動（できる、できる!）

もりの仲間のこまおか「朝市」にみんな来てね!!

もりの仲間のこまおか「朝市」実行委員会

もりの仲間のこまおか「朝市」も早いもので３年目を迎えました。

この間、地域住民の利便性を考慮し、地域の活性化に貢献するという理念と、厳しい現実と葛藤する日々の連続だったように思います。常に地域住民と高齢者の生きがいつくりを考慮し、季節ごとに地元で収穫された新鮮な野菜、山菜、魚貝類等を格安な値段で販売し、お客様に喜んでいただいてまいりました。

18年度は、出店数延べ267店、お客様延べ4,034名の方々においでいただきました。ありがとうございました。また、地域福祉推進活動に役立てたいとの理念から、常盤小学校及び常盤中学校、特別支援学級の子供さんたちの、手作り作品を授業の一環として販売し、生きた社会体験を実習させたいとのことで参加しております。子供さんたちが、生き生きと喜んで販売している姿を皆様方にも見ていただき、励ましていただければ、幸いに思います。

３年目を迎え、執行部及び会則等、必要なところは過日の総会で整備され内部態勢も整いました。

今後は「朝市」の知名度も知れ渡り、出店希望者も増えつつありますので、益々充実した「朝市」をめざし頑張ってまいりたいと思っております。

皆様方の変らぬご支援を切にお願い申し上げます。

○出店支援ボランティアを募集しております。ご協力下さい。

問い合せ先：保養センター駒岡

TEL 583−8553　担当　小林

（ふれあい部長　野中晴彦）

３年目を迎えました

もりの仲間の子育てサロン

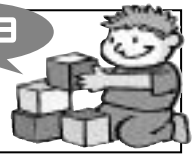
新しいお友達が加わりました！

芸術の森地区社会福祉協議会　子育て支援部

今年で３年目を迎えたサロンは、親子が集う場所として定着してきたようです。福祉のまち推進センター（石山緑地の南老人福祉センター内にあります）を会場にしてのサロンですが、毎回30名ぐらいの参加があり、元気なお友達はそのスペースでは狭すぎるので、南老人福祉センターの中を自由に遊ばせてもらっています。老人福祉センターに来ているおじいちゃんおばあちゃんともすっかり顔見知りになりました。お友達はおもちゃやボールで思う存分遊び、また、折り紙や本読み・紙芝居を楽しんでいます。

弟、妹の誕生で、０歳のお友達もきています。秋にはハイハイのラッシュでしょう。今年度からは、お母さんの楽しみとして手芸コーナーを設けています。ボランティアさんが道具・材料を用意してくれていますので、興味あるお母さんは自分のペースで習うことができます（無料）。好評で毎回５～６名の参加があります。素敵な作品が出来上がっています。今年度から社会福祉協議会には子育てに関する全般的な事業を展開することを目的に、**子育て支援部**が設置され、「もりの仲間の子育てサロン」は主要事業として明確に位置づけられました。サロンの内容にかわりはありませんので今まで同様、気軽に利用してください。

毎月第１・第３水曜日　開催日
10:00～11:30
福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）



平成19年芸術の森地区

交通安全運動推進委員会報告

芸術の森地区町内会連合会
交通安全部長　大滝　盛弘

標記の定期総会が去る５月24日(木)午後６時30分より、まちづくりセンターに於いて、近藤会長の下開催されました。

多くの関係者の方々が出席され、事業計画、会則第５条の改正に伴う議案が進み、自転車利用の状況、安全旗の破損等、担当者の活発なご意見が寄せられ熱意のある会場でした。

事業は(季)別運動の期間中に日程計画し実施されます。

実施日には是非、地区皆様のご参加ご協力をお願い申し上げます。

★定期季別運動（４期40日）★

5／11～5／20	春の交通安全市民総ぐるみ運動・街頭啓発
5／15(火)10:30～	芸森地区まちづくりセンター前・街頭啓発
7／18～7／27	夏の交通安全市民総ぐるみ運動・街頭啓発
7／19(木)10:30～	芸森地区まちづくりセンター前・街頭啓発
9／21～9／30	秋の交通安全市民総ぐるみ運動・街頭啓発
9／21(金)10:00～	アパホテル前　・街頭啓発
11／21～11／30	冬の交通安全市民総ぐるみ運動・街頭啓発
11／28(水)10:30～	芸森地区まちづくりセンター前・街頭啓発

クリーンさっぽろ衛生推進協議会

芸術の森地区委員会　総会報告

芸術の森地区町内会連合会
環境衛生部長　堀川　昭八

常々、環境衛生部事業に温いご理解とご協力を賜り有難うございます。

地区委員会の平成19年度総会は、６月26日芸術の森地区会館において地区内推進員等出席のもとに開催され、18年度事業報告と19年度の独自・共催事業、通年活動等を検討して、無事終了いたしました。

今年(のクリーンさっぽろ事業)は、交付金の減額によるボランティア表彰や啓発活動などが少な目になることが心配されるものの、例年並の事業に取り組むことになりました。

また、一部推進員の交代(別記参照)はありましたが、昨年に引き続き連町事業の重点方針の一つ（「まちづくりビジョンの実現」)「ごみの不法投棄対策」を中心に、今年度活動を進めたいと考えております。

ごみ収集の有料化間近が囁かれるなか、どうぞ皆様方、環境衛生部事業への倍旧のご理解をお願いし、簡単ですが、総会の報告とさせていただきます。

◎主な事業内容

４月２日	環境衛生モデル地区の推薦
４月８日～５月13日	春の清掃運動
５月30日	ごみ０の日キャンペーン
７月８日～７月27日	夏の清掃運動
９月28日～10月21日	秋の清掃運動
11月上旬	不法投棄ごみ一斉撤去作業

ほか、資源物リサイクル、清掃意識の高揚、ごみ不法投棄対策(主に監視活動)、単町・各団体対象の出前講座等啓発運動の推進。

南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会芸術の森地区委員会

平成19年度

クリーン役職名	氏　名	町内会役職名
会長（地区推進員）	堀　川　昭　八	石山東会長(地区委員会)
副会長	辻　　一　夫	環境部長(地区委副会長)
委員	山　屋　忠　意	環境衛生部長
委員	坂　本　克　明	保健衛生部長
委員	伏　見　豊　彦	防災部長

芸術の森地区クリーンさっぽろ衛生推進員

平成19年度

委員名	氏　名	町内会役職名
衛生推進員	堀　川　昭　八	石山東会長(地区委会長)
〃	辻　　一　夫	環境部長(地区委副会長)
〃	山　屋　忠　意	環境衛生部長(地区委員)
〃	寺　田　利　夫	町内会副会長
〃	小　林　　栄	環境衛生部長
〃	福　田　年　翁	町内副会長
〃	坂　本　克　明	保健衛生部長(地区委員)
〃	西　垣　勝　由	生活環境担当
〃	若　松　禮　吉	衛生推進員
〃	東　　良　和	事業部長
〃	軽　部　幹　夫	衛生部長
〃	田　中　勝　雄	町内会副会長
〃	菅　原　繁　利	町内会長
〃	川　北　秀　雄	衛生推進員
〃	伏　見　豊　彦	防災部長(地区委員)

平成19年度
もりの仲間の交流会
秋の大収穫祭
9月8日(土)
10:00～14:00
常盤児童会館
（南区常盤2条2丁目17－23）
雨天決行
いも・えだまめ・とうきびーーいっぱい食べよ！
いろんな遊びもいっぱいあるよ！
みんなあつまれー！
主催：芸術の森地区町内会連合会・社会福祉協議会
協力：常盤児童会館・北海道牛乳普及協会

女　性　部
交通安全母の会

女　性　部　長
交通安全母の会会長　三上　良子

女性部（女性の教養を高め、地域発展に貢献することを目的とする）と母の会（家庭における交通安全教育の推進者となり交通事故のない明るい地域づくりを目的とする）は、地域に最も身近かな存在としてその活動を進めているところです。

４月に実施した新一年生への入学プレゼントにはじまり、研修事業・街頭啓発は年間を通し総会議決の通り実施いたします。今年度も部長会議（各単町から選出された女性部長で構成されている）の充実、他の組織との連携を深めながら、女性の視点での地域貢献をすすめていきたいと思います。

講演会

テーマ　*上手な薬との付き合い方*
講　師　**吉澤　弘隆**　薬剤師
日　時　10月２日（火）14:00～15:30
場　所　芸術の森地区会館

芸森地区の皆様　多数ご参加願います！

もりの仲間の子どもを見守る ネットワーク 総会

防犯防災部長　**蓑輪　博**

１．実施日時：Ｈ19年６月28日（木）18:30～19:20
２．場　　所：芸術の森地区会館
３．参 加 者：36名　細部別紙
４．議　　事
　ア　18年度、19年度計画について、執行部から説明
　イ　下記についての質疑があった。（議事顛末）
　（ア）情報の伝達内容：ＴＶ、警察等の一般的な情報を流すが、地域に何を具体的に期待するのかと言う情報を含むのか、その内容により関心度が異なる。（見晴）
　（イ）学校で情報を精査し判断する。その後ＧＮＣ、保護者に自宅玄関前で迎えるなどの情報を流している。（集団下校の反省事項を紹介）（東小）
　（ウ）学校としては、保護者への対応で手が一杯であり、地域の見守り活動への連絡は緊急通報システムを利用し、地域の方々に期待をしたい。（常盤小）
　（エ）その他
　　常盤公園周辺のバイクによる騒音、野宿する者等に周辺住民から不安の意見がある。連町から関係先に対し、対応の要望意見があった。
５．今後の処置事項
　ア　７月10日理事会：夏休み時期前に、各町内会長に問題点を伺い検討したい。
　　公園管理部門と警察等への要望：不安要因に対する解消策（公園の利用規制策、警察に深夜帯等の巡回強化など）
　イ　ネットメンバーの募集要領（センター長）
　ウ　防犯、交通、母の会等メンバーで、10月行事の概要を早期に検討する旨打ち合わせをした。

精進川の源流を見た！

島　田　三千春

５月12日、駒岡小学校７年１組の企画による精進川源流探検が行われ、クラスメイト10名が春真っ盛りの滝野で精進川を遡り、二つの源流を確認しました。駒岡会館に集合したクラスメイトは、一路左精進川の上流を目指して車を進め、滝野を超えてから徒歩で林道を上流へと進みました。道路脇では、真っ白な花を付けたコブシに歓迎され、エンレイ草が可憐な姿を見せるかと思えば、樹木に熊の爪痕が残っている中を進むこと15分余り、伐採されハゲ坊主となった山林とモトクロス練習場となった山奥に左源流の最初の一滴を見つけることができました。

また、別のルートを辿り、右源流の探検へと徒歩で進むことに20分程、かつて滝野に入植し、今は廃屋となった傍らの手掘りの池には水芭蕉が群生し、オシドリが羽根を休めている辺り、土の中から密かに湧く源流を発見したのでした。二つの源流の途中には、残念ながら心無い人たちが捨てた大型家電や朽ち果てた自動車が見られ、クラスメイト達は源流を見た感激と落胆とを胸にして滝野を後にしました。※「７年１組」は駒岡小学校をサポートする会

右源流には人工の池（クラスメイトの背後）▶

「真駒内川の周辺整備」ワークショップ開催される

企画部長　島　田　三千春

芸術の森地区のシーニックバイウェイ事業の中に、「もりの仲間の自然回廊（遊歩道）整備」があります。この一つに真駒内川の改修を機に、“川周辺を遊歩道に”ということで「真駒内川を考える会」が発足して、事業主体の札幌土木現業所と折衝を続けてきました。札幌土木現業所では関係各町内会及び各団体から意見を聞き、今年３月に真駒内川管理用通路建設の基本的な方針が決定されて、５月には現地で説明会も行なわれました。

これをうけて、連町の主催による「芸術の森地区住民ワークショップ」を６月９日（土）13時半より芸術の森地区会館において行ないました。見晴町内会・石山東町内会・常盤団地町内会の方々を中心に45名の方の参加をいただき、５班に分れて討議をお願いしました。また、札幌土木現業所及び南区の職員にも出席いただきました。

テーマは、「真駒内川の周辺整備」～美しい景観を後世に残すために自分たちがするべきこと～として、討議の柱は

１．植栽などの周辺整備について
～真駒内川を身近に感じてもらうためのアイディア（植栽、フットパス整備、自然観察、ウォーキング大会など）～

※フットパスとは、「ハイキングなどで歩く人のための道」「歩くことを楽しむための道」のことを言い、今回の場合は「川縁を歩ける道」を言います。

２．樹木や草花の整備・維持などの運営方法について
～美しい景観を後世に残すために自分たちがするべきこと～　としました。

はじめに、札幌土木現業所の事業課河川係長に「これまでの経過説明」をしていただきました。河川敷には民地との間が広い所・狭い所などがあり、それぞれに応じた管理通路の位置やフットパスを付ける場合の位置などの説明がありました。

その後、討議の柱にそって班ごとに討議していただき、最後に班ごとにまとめを発表していただきました。

周辺整備については、フットパスは水に親しめる、魚を見る事で教育効果もあるなど、また、植栽についてもいろいろな意見が出され、関心の高さが感じられるワークショップでした。

札幌土木現業所では、ワークショップの結果を参考に、管理用通路の整備の内容を検討していきます。

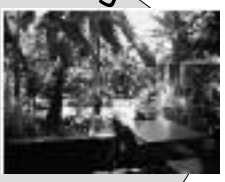
まちづくり講演会

６月22日、北海道東海大学で南区主催により「シーニックバイウエイによる南区の魅力づくり」と題する、まちづくり講演会が開催されました。

関係者90名ほどが参集して、地域と行政が連携し「美しい景観づくりを通じた地域の活性化」（副題）を意図するもので、市立大学羽深教授、東海大学吉村教授の講演を前に、当連町関口会長が、地域振興に生かす同活動への（連町としての）とり組み（経過）を披露しました。

両教授の講演－情報提供－は「場所には意志がある」等、実のある内容でしたが、今後とも地域に根ざした特に拙速な活動とはならないよう望みたいものです。（堀川記）

くつろぎの宿
こまおか
宿泊
休憩　入浴
パット・パークゴルフ
屋内パークゴルフ

指定管理者：社福）札幌市福祉事業団
札幌市保養センター駒岡
札幌市南区真駒内600番地20
TEL(583)8553　Fax(583)8574
http://www.jigyodan-sapporo.or.jp
60才以上の方は
1泊2食（税込）で
4,900円～
あなたの街のゆったり空間
もりの仲間のこまおか朝市
毎月第2・4日曜日朝9時～
好評開催中！
札幌市保養センター駒岡
駒岡清掃工場隣り
TEL(583)8553
P
レストラン駒岡
＊温室の花をご覧いただきながらのお食事はいかが？

夏期（4月～10月）　11時～17時
冬期（11月～3月）　11時～16時
（オーダーストップは営業終了の30分前です）

爽やかな汗をながして！

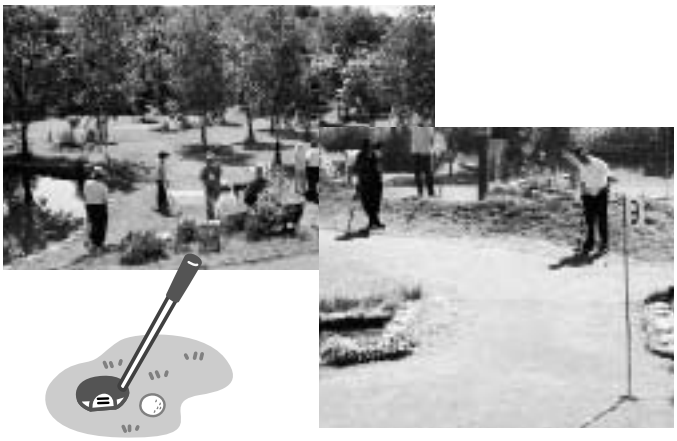
芸術の森東地区スポーツ振興会 パークゴルフ大会

第９回パークゴルフ大会は、６月17日老若男女80余名が参加し、駒岡コースで開かれました。

当日はゴルフ日和に恵まれて、これまでにない盛況ぶりでしたが、因みに参加者は最高年齢は82歳、いちばんお若い方は８歳でした。

真剣なプレーの結果、常々技を磨いてこられた、つぎの方々が入賞（優勝、準優勝のみ）されました。（敬称略）

小学生　望月　トワコ（駒岡団地）　**佐賀　百花**（石山東）
女　子　関　　美枝子（石山東）　**伊東マサ子**（駒岡団地）
男　子　小笠原敬次郎（石山東）　**佐藤　廣幸**（石山東）

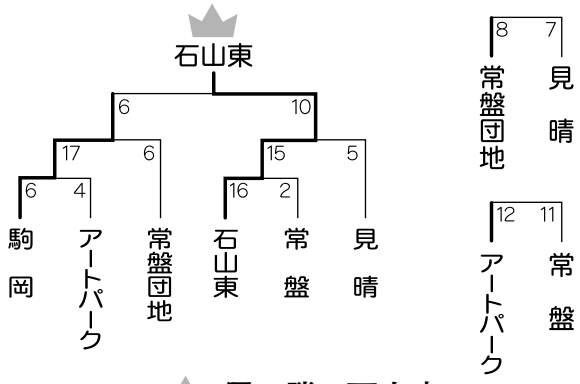


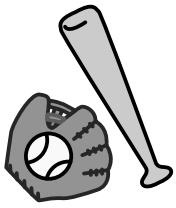
芸術の森地区町内会連合会 ソフトボール大会

７月１日（日）第３回芸術の森地区対抗ソフトボール大会が行われました。

本年はサンブライトチームが創立20周年行事と重なり、出場できず、６チームで競われました。

結果は以下の通りです。なお、優勝決定戦と５、６位決定戦はいづれも６回引き分けとなり、ジャンケンでの決着となりました。





優　勝　石山東
準優勝　駒　岡
第３位　常盤団地
第４位　見　晴
第５位　アートパーク
第６位　常　盤

空沼清掃登山

６月23日（土）恒例の空沼岳清掃登山が行われました。本年も登山道にはゴミ一つ無く、快適な登山となりました。

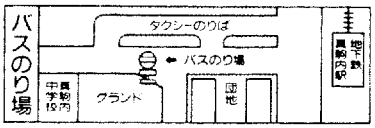
しかし、これも永年の活動の成果です。決して油断してはいけません。

なお、常盤団地より参加の渡辺様は本年80歳になられたそうですが、何と登山口迄の10数キロを自転車で来られ、帰途も自転車でさっそうと帰られました。いつ迄もお元気で。

永久に生きる花と緑の明るい聖地
真駒内滝野霊園
札幌市許認可霊園

無料 見学・墓参バス運行中

時間
午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



お問合せ・お申込みは　真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223㈹

おめでとうございます

見晴町内会長　蓑輪　博 氏

４月27日、地縁団体見晴町内会長で、芸術の森地区町内会連合会防犯・防災部長でもある蓑輪　博さんが、地域安全活動の取組みに貢献されたとして、札幌市南区防犯協会連合会会長、札幌方面南警察署長から表彰状が授与されました。おめでとうございます。

なお、蓑輪さんは永年のみはらし見回り隊長としての功績が認められたものですが、「皆さんのお力添えの賜です。ありがとうございました」とのお礼の言葉を寄せられています。

写真展開催！

『げいもりの四季』

作品募集！
参加記念品あります！

芸術の森地区の美しい風景、街並み、あなたが撮影した写真を出品して下さい。応募方法は下記をご覧下さい。たくさんのご応募お待ちしています。

【テーマ】 げいもりの四季
【応募規定】 応募者は芸術の森地区住民に限ります。
応募作品は本人が撮影したもので未発表のもの。
カラーモノクロいずれも可能で、お一人３点まで。
被写体に人物が入る場合は、肖像権侵害等の責任は負いかねます。
撮影期間は、平成18年４月から締め切り日まで。
【サイズ】A4サイズまたは六ッ切りまで。
【応募方法】回覧される案内に掲載されている応募用紙に必要事項を記入し作品裏に貼り、芸術の森地区まちづくりセンターへ持参するか、郵送でお願い致します。
【締め切り】平成19年９月末日まで
【展　　示】平成19年11月に開催される文化祭で展示します。

主催：芸術の森地区町内会連合会
支援：芸森ネットコミュニケーション

日ハム選手、石山東小児童と交流

去る７月９日(月)、北海道日本ハムファイターズの飯山浩志選手と押本健彦選手が石山東小学校に来校し、全校児童との交流会がありました。

子どもたちとのハイタッチで入場、プロならではの力強いキャッチボール、そして、選手じきじきのキャッチボール・バッティング指導がありました。応援グッズを手にしたお母さんたちの熱気は、石山東小体育館ミニドーム球場をつくりあげました。

飯山選手、押本選手ありがとう！

入所サービス
ショートステイ
みなさまの想いにおこたえいたします
通所リハビリテーション
介護予防

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0349 札幌市南区石山837-47
0120 Free Dial 0120-348-365
ふんな　ふあわせ　365日

サンブライト真駒内町内会
創立20周年記念式典と祝賀会

会長　村井淳一

平成19年７月１日、当町内会の創立20周年を迎えて、記念式典と祝賀会を開催致しました。

雲ひとつない快晴に恵まれ、南区芸術の森地区まちづくりセンター所長をはじめ、連町会長並びに地区単町の会長様多数の御出席を賜り、サンブライト会館ホールを会場として記念式典を挙行、初代から７代までの歴代会長と、町内会の為に永年功労のありました元役員石塚定夫、奥野敦、阪木義信、三崎吉朗の４氏にも感謝状と記念品の贈呈が行われ、そのあと会長式辞、連町会長関口明氏の来賓祝辞を賜り簡素な裡にも粛然とした式典を終えました。

引続いて会館隣接の屋外に特設された会場に全員移動をお願いし、大祝賀ガーデンパーティとなり、冷えた生ビール、とりの炭火焼き、焼きイカ、枝豆、オードブル、果物等々、いづれもセルフサービスの呑み喰い放題、自由席で肩のこらないムードの中で、アトラクションはフジノ・アロハサークルの皆様による華麗なフラダンスショーで幕をあけ、大喚声と拍手で一気に盛り上りました。続いて町内会員川又洋治氏が率いるカントウータの皆様による、南米ペルーに伝わるフォルクローレの演奏に酔いしれました。

当日会場の舞台や飾り付けなどの設営、調理の材料購入から提供まで全部町内会員が分担しました。知恵と労力を惜しまずに頑張ってくれた実行委員の諸氏には感謝の言葉もありません。

「まちづくり」とは住んでいる人々を、上からこうあるべきだとか、学識者と称する方々の知識で律するものでなく、住民が何かあるときに、自分等が望む目的を達成する為に自然に混然一体となって働くことだと思います。最初に心の働きがあって形となってゆくものでしょう。今回の事業を通じて実行委員の方々は本当に真剣に意見を出しあい討議を重ねました。これが良い結果に結び付いたと考えています。

仕事を成し遂げた達成感は、何よりも大きな満足を覚えます。

公私御多忙の中、御来臨いただきました来賓の皆様には重ねて御礼を申し上げます。町内会員のみなさん、今夜も安眠できる街であることに感謝しましょう。

（附記）記念事業について

①会館の改修、外壁修理と塗装工事、屋根の雨漏り修理と塗装工事完了。

②記念植樹、桜の苗木20本を会館の周辺に植えました。

③記念誌の発行、町内会員に全戸配布。

ごあいさつ

地域の皆様、はじめまして。

本年４月より芸術の森地区まちづくりセンター所長に着任いたしました野島と申します。

着任前より、当地区の活発なまちづくり活動は耳にしておりましたが、実際に着任してみて、改めて多彩な地域の皆様のパワーを強く感じているところです。

今後とも、当地区のテーマであります『人と自然に優しい文化推進の里づくり』に、微力ではありますが、日々学びながら支援していきたいと考えておりますので、２名の連絡員ともども、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、これまで芸術の森地区会館の管理人を勤めておりました石原　昌信･芳子さんが都合により６月30日で退職され、後任として、７月１日より柿本博･花枝さんが管理人となりました。今後とも、どうぞ気軽にご利用ください。皆様のお越しを心よりお待ちいたしております。

編集後記

平成19年１月（第７号）の発刊以来、各種総会等もありのびのびになりましたが、第８号をお届けします。

今年度も昨年同様に定期号は３回ほどの発刊になろうかと思います。皆さま方のご投稿を加えて、より実のある広報「芸術の森」を目指しますので、益々のご協力を切にお願い致します。

編集委員長　堀川　昭八
副編集委員長　三上　良子
情報部長　古内　一枝
情報部長　石黒　裕子
会計部長　佐藤　宗昭
監事　馬場　宏